

和光市協働事業実績報告書【平成 24 年度実施事業】

●事業概要

事業名	農業体験センター及び市民農園管理運営委託業務
-----	------------------------

事業主体	事業実施団体	行政（担当課）
	和光生ごみ市民会議	産業支援課

事業費	予算額	決算額
	2,546,000 円	2,582,520 円

事業内容 (実績)	1. 農業体験センター及び市民農園管理運営 2. 市農業振興事業補助 3. 広報及びインターネット管理運営 ・ 広報；「アグリパークだより」6回発行 ・ インターネットブログ開設 4. 個別事業 ①野菜づくり講習会と農業相談 農業講座—7回 農業相談月1回 ②「農」と親しむイベント（伝統的な七夕祭りや野菜収穫体験） ③. 秋の「農」まつり（収穫祭、模擬店、景観立毛品評会） ④. さつまいも収穫体験 第1回5月26日植付け体験 → 第2回7月1日除草体験→ 第3回10月14日収穫体験 ⑤冬採りじゃがいも収穫体験 第1回8月18日植付け体験 → 第2回12月24日収穫体験 ⑥農地環境保全事業 (有志ボランティアと行う農地改善)
--------------	---

●事業結果

●事業進捗

	当初	実績
事業 スケジュール	3. 広報アグリパーク便り発行 4. 個別事業 ①農業相談月1回 農業講座7回 ②若い世代が考える「農」と 親しむイベント ③秋の「農」まつり ④さつまいも収穫体験 ⑤冬採りじゃがいも収穫体験 ⑥農地環境保全事業	3. 広報アグリパーク便り6回発行 4. 個別事業 ①農業講座 (1)6月19日 (2)7月21日 (3)8月29日 (4)11月24日 (5)12月8日 (6)2月17日 (7)3月23日 ②若い世代が考える「農」と 親しむイベント 8月4日実施；アグリパークで ミニあそびの森～夏の陣天下分 け目のすいか割り～ ③秋の「農」まつり 10月27日実施：小松菜の収穫 とコスモスの花摘み採り（506人 参加） ④さつまいも収穫体験 5月植え付け 10月14日終了（58人参加） ⑤冬採りじゃがいも収穫体験 8月植え付け 12月24日終了 ⑥農地環境保全事業 5月1回の開催から年間通して の管理に変更
事業変更理由 *事業内容の変更や 計画どおりに進め られなかった理由 をご記入ください。	⑥は現地の状況が予想より難儀な耕地であり、手作業の除草作業は多大な労力を要し、かぼちゃ畑にしたが除草作業に追われ人手を要したため、年間を通じての管理に変更し管理した。	

その他の意見

【団体】全ての事業を滞りなく終えることができた。個別事業実施時来場者約1000名を含むと、合計9447名の来場があった。

【団体】4-①農業相談は、すぐに対応した方が良い状況が多かったため、月1度の相談会

以外にも農家の協力を得て随時行なった。

【団体】4-②「アグリパークでミニあそびの森」は、NPO 法人こども・みらい・わこうの協力を得て行なった。七夕（旧暦）が近かったので、新倉地区の七夕の過ごし方を再現し、マコモウマや新倉まんじゅうを作った。地域の伝統を重んじたイベントとなった。

【団体】4-③秋の「農」まつりは、バーベキューコーナーや模擬店、ジャズバンドの演奏等大変にぎやかなものになった。

【団体】4-④さつまいも収穫体験実施時には、いもの発育状況が良く、敷地外の駐車場までツルが伸びていた。植物の命の力を来場者に知ってもらう良い機会になった。

【団体】4-⑥農地環境保全事業は、除草や農道の不法投棄、残土処理等迅速に対応できた。周辺農家にも感謝の声をもらった。

●事業成果指標

		当初	実績
団 体	事業 成果 指標	和光市の貴重な地域資源！みんなでつくる「農あるまち」づくりを指標に、アグリパークの管理運営事業を通して、自然環境、地権者が安心して事業経営ができる、市民農園利用者が安心して利用できる環境、アグリパークの環境保全、より多くの市民に周知させる。	今年度当団体が受託したことにより、地権者は勿論、市民農園利用者が体験センターをツールにコミュニケーションの場となり安心して「農」ある楽しい生活ができた。各事業も地権者や他団体の協力支援も得られた。
	コメン ト	特に市民には事業に参加して初めて市内にこんな素晴らしい自然環境があることと評価され、アグリパーク環境を周知させた。	
担 当 課	事業 成果 指標	(1)収穫祭や各種講座への参加者数とアンケート調査等による満足度調査 (2)市民農園利用者ヒアリングによる満足度調査 (3)農業者へのヒアリングによる課題抽出と分析	(1)講座等実施回数及び参加者数前年比 講座等実施回数 11 回（150%） 参加者数 677 人（550%） (2)市民農園利用者へアンケートを実施し、回答に、接遇や雑草堆肥場の設置、イベント開催が優れているとの評価が見られた。 (3) 実施していない
	コメン ト	・ 講座等実施回数、参加者数共に前年と比較し飛躍的に伸びていることは大変評価できることである。 ・ 市民農園周辺の耕作地を所有する農家からも評価が高い。	

その他の意見

【団体】来場者と周辺農家との交流が増えた。

事業を実施し、 想定以上の効果 があったか。	団 体	・はい ・広報紙「アグリパーク便り」の発行、事業のチラシ配布や市内掲示板に掲示したり、市の広報やインターネットのブログやツイッター、会員ひとりひとりが他団体に呼びかけをして、個別事業の参加者は年間を通して 1000 人超の市民が参加した。また、事業に参加したことがきっかけで、アグリパークを散策する人も多く見受けられるようになった。坂下改良区環境保全組合の農家の方、市民農園利用者からも、管理運営が当団体に変わり、管理事務所に来所する機会が増え、活気が出てきたと評価を受けている。行き届いた管理となり、不法投棄の対処も早くなり、環境もよくなった、安心して農業ができるという声も多く寄せられている。
	担 当 課	・はい ・平成 24 年 10 月 27 日実施の「秋の農まつり」において、農業後継者倶楽部に依頼している花景観事業で栽培されたコスモスの摘み取りをイベントの一部に導入したことで、景観事業の周知効果が見られた。 このように市民団体の持つノウハウが活かされ、他の組織と連携したイベント等が実施された。

その他の意見

【団体】個別事業の来場客が、農園の口コミをしてれていた。その効果で来場者がかなり増えた。

【団体】近隣の病院、福祉施設、いちご園を目的に来た人が多く立ち寄った。

●協働の結果

(1) プロセスの積み重ね

	団体	担当課
①事業進捗状況の報告を定期的に行っていましたか。	はい	はい
②問題が生じたときに、すぐに話し合えましたか。	はい	はい

その他の意見

【団体】管理日報は、きめ細やかに記入できるよう、項目の設定を丁寧に行なった。

日報は週1度担当課へ提出した。異常事態発生時等は、担当課と共に現地にて迅速な対応を行なった。高いレベルで意志の疎通をはかれた。

【担当課】積極的に情報共有を行っていたため、問題が生じてもすぐに解決することができた。

(2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築された場合、その内容を具体的に下の左欄に記入し、このつながりや連携を今後の協働事業の展開にどのように活かそうと考えているかを右の欄にご記入ください。

団 体	【具体的内容】 事業を通して、NPO法人こどもみらいわこう、坂下改良区環境保全組合、和光市後継者倶楽部、子育て支援センター、社会福祉協議会、ビオトープ団体、フラワーメイト団体、身障者福祉協議会、NPO法人ポコ・ア・ポコ、バカモンド楽団、新倉まんじゅう保存会などに協力を呼びかけ連携ができ、より多くの方にアグリパークを周知させることができた。	【つながりや連携の活用】 和光市の貴重な地域資源！をより多くの市民に浸透させ、地権者も観光資源として利益が得るように、市と市民と協働で“みんなでつくる「農」あるまちづくり”を推進してゆきたい。
担 当 課	【具体的内容】 イベント実施に際し、下記団体の参加があった。NPO法人こどもみらいわこう、坂下土地改良区環境保全組合、和光市農業後継者倶楽部、子育て支援センター、社会福祉協議会、ビオトープ団体、フラワーメイト、身障福祉会、NPO法人ポコ・ア・ポコ、バカモンド楽団、新倉まんじゅう保存会	【つながりや連携の活用】 農業体験センターで実施するイベント等既存・新規事業への活動協力（イベント準備、農産物等提供、イベント内の出店や演奏協力）

その他の意見

【団体】個別事業開催時に、近隣の病院、福祉施設、いちご園等に声をかけ、そのうちのいくつかには団体として参加してもらった。交流が生まれ、口コミ効果もあった。

(3) 市民満足度の向上

事業の受益者の満足を得ることができましたか。

団体 担当課
はい はい

受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを下欄にご記入ください。

団 体	広報紙「アグリパーク便り」の発行、事業のチラシ配布や市内掲示板に掲示をしたり、市の広報やインターネットのブログやツイッター、会員ひとりひとりが他団体に呼びかけをして事業の参加者は年間を通じて 1000 人超の市民が参加した、事業に参加したことがきっかけでアグリパークを散策する人も多く見受けられるようになった。
担 当 課	・ イベント等各事業の実施報告において、その参加人数を報告事項とすることで来場者数を把握した。 ・ 市民農園利用者に対し、アンケート調査を実施した。

事業の受益者以外の市民全体の満足度の向上を感じられましたか。

団体 担当課
はい はい

どのようなことで感じたかを下欄にご記入ください。

団 体	坂下改良区環境保全組合の農家の方も管理が変わり活気が出てきたと安心して農業ができるという声を多数集約しています。
担 当 課	生ごみ市民会議の報告から近隣の農業者から周辺が活性化しているとの意見もあり満足していると思われる。

(4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組めましたか。

	団体	担当課
①「相互理解の原則」	はい	はい
②「目的・評価共有の原則」	はい	はい
③「自立の原則」	はい	はい
④「対等の原則」	はい	はい
⑤「役割分担明確化の原則」	はい	はい
⑥「情報公開の原則」	はい	はい

役割分担について

	当初	実績
団 体	1 企画立案業務 事業の企画立案・協議、掲示板掲載、受付・実施・報告 2 施設管理業務施設 管理日報提出、施設の使用管理、貸出業務、貸出備品の点検・管理、整理整頓業務、市農業振興補助業務 3 市民農園管理運営業務 アグリパーク地内巡回・整備、農業指導、適正利用指導、市民農園利用説明事務、害虫駆除 4 その他の業務 スタッフへの研修の実施、業務推進に関する課題の検討、管理団体の名簿内容記載変更届出、緊急時の連絡体制、対処方法の検討、個人情報の保護に関すること、外部団体との連絡調整	1 原則通り実行しました 2 管理日報は週毎に提出、施設の使用管理、貸出業務、貸出備品の点検・管理、整理整頓業務などを管理日報に記入項目として管理原則にはない、来所者数など人数を把握し利用者数を調査した。 3 市民農園管理運営業務 原則通り実行し、利用者からは多数謝意の声があった。 4 その他の業務 個人情報遵守して原則通り実行した。

担当課	役割分担で食い違いがあったが、業務に慣れるにつれて徹底されてきている。	役割分担が徹底された上、年間の業務を一通り経験したことで、計画的且つ柔軟な対応ができるようになった。
-----	-------------------------------------	--

役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

団体	良かった点；原則通り実行してきた、また細かい点は担当課と話し合いながらより良い方向で調整して対処ができ良かった。 改善してほしいこと；市の広報もHPなど今はインターネット時代である、アグリパーク内にも、インターネットを設置し、アグリパークに来る市民にも、市政などに関心を持ってもらうべく、市のHP広報などの情報提供ができるよう市民にサービスの機会を充実させてほしい。
担当課	役割分担に沿って事業実施できた。

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

団体	【PR事例】 市広報、HP、アグリパーク便り、掲示板、口コミなどを使い、アグリパークにおける魅力ある事業などの情報発信を行った。	【社会的認知度の向上】 情報発信の機会を多くしたことにより、より多くの市民がウォーキングに訪れて、口々に「近場にこんなに自然があるところを知らなかった」と絶賛の声を多く聞き、認知度を向上させたと確信した。
----	---	---

情報公開について、どのような手段で情報発信をしましたか。

担当課	広報やホームページを活用して、講座・イベントについてPRし、また、アグリパークだよりを産業支援課に置くことで、活動内容等について周知している。
-----	---

その他の意見

【団体】施設のPRをもっとして欲しい。たくさんの市民に施設のことを知ってもらいたい。

(5) 協働の成果

協働することで、団体、市、市民それぞれにどのようなメリットがありましたか。

団体	【団体のメリット】地権者、利用者へのきめ細やかな支援、環境保全を重視した管理運営ができる。市民目線による「農」あるくらしの伝承文化など魅力ある事業を企画し、地産地消のススメ、自然環境、地域資源を大切にしたいという意識をより多くの市民に浸透させ周知ができる。
	【市のメリット】市民団体のきめ細やかな管理運営や、魅力ある事業を展開させたことにより、利用者の満足度を高め、アグリパークを活性化することができ、市民サービスの向上ができた。
	【市民のメリット】市民団体が管理運営事業をしたことにより、市民特に参加した子どもたちや若者たちは初めての「農」に親しむ事業体験をし、食といのちの大切さを実感し、伝承文化、自然環境を実感する機会が増えた。
担当課	【市のメリット】 イベント・各種講座を実施したことで、来場者数が増加した。

事業を実施したことで、改善が必要だと思われること、思ったとおりできたことは何ですか。

団 体	【改善の提案】 ①不法投棄対策 不法投棄は一向に減少せず同じ個所に投棄している同一犯と思われる。防犯ビデオカメラを設置するなど対策を講じてほしい。 ②市民農園 - 夏の除草対策について（区画） 通常の管理体制では手作業の除草は困難であるため、市職員の支援（草刈り機使用）や、雑草の多い期間中の管理員の出勤日を増やし、管理員一斉除草をする体制を確立する等の対策を中間評価時に提案し一部改善されたが、次年度の実施の際には更なる改善を検討して欲しい。（協議中） - 定期的に月 1 回産業支援課職員も会議に参加して一緒に協議しより良い運営管理ができるようにしてもらいたい。（協議検討中） - 市民農園利用者への連絡について 管理員が何度も連絡しても除草をしない利用者に困っています。産業支援課と定期的な協議をするための会議が必要だと思う。（改善に向けて協議中）
団 体	【改善できたこと】 ①市民農園 - 新規利用者への配慮、一現在は除草するのみとなっており、利用者が手作業で耕地するのは大変な作業であり、やる気をなくしてしまう、そういう苦情が多々ある、倉庫内の備品のトラクターを使用できる市の職員が耕地してすぐ使いやすいように便宜を図るようにすべきと中間評価で提案した結果、改善されつつある。 - 区画のNOプレートは、プラスチック立て札ではNOが消えてしまったり、看板が破損している箇所が見られた。プレート固定式に新品交換を希望した結果、年度内に固定式プレートに改善された。 ②管理員の体制について - 市民団体は利益追求の事業者ではない、市と市民との協働事業であるからリスク管理については市職員の保険制度に準じた保険に加入するべきであると提案。団体側で保険に加入した。 - 土曜日、日曜日の管理体制について 土曜日、日曜日の利用者数が非常に多い。利用者へのサービス向上のために管理員を2人体制にし充実を図る提案をしたところ、改善された。 ③農地環境改善保全事業について 除草対策は大変な作業でした。耕地するのが無理な状況を報告・相談したところ、事業実施内容を変更し改善された。
担当課	市だけでなく団体においても、施設の管理運営の行ううえでの安全確保について、常に留意する必要がある。

その他の意見

【団体】②市民農園について：耕地とは当然大変なものである。利用者には土づくりから知ってもらう必要があると思う。何らかのかたちで利用者を納得させる工夫はできないか。

→【担当課】現在対応を考えているところである。

(6) その他

団体の報告

上記以外で、協働事業の成果として特にアピールしたいものがあれば、下の左の欄にご記入ください。また、それが今後の協働事業の発展にどのように貢献すると考えているか、右の欄にご記入ください。

【成果のアピール】

行政と当団体の協働により、団体が利用者の立場に立ったきめ細やかな管理運営をすることにより地権者も、市民農園利用者も環境がよくなったと評価され、行政への苦情も減った。事業「秋の農まつり」での市民農園利用者対象の「景観立毛品評会表彰」は利用者の野菜づくりのより一層の喚起のきっかけとなった。また、地権者や市民農園利用者、花畑を散策する人、ランチを持参し団欒する人、BBQパーティを楽しむ市民など体験センターへの訪問者も増え、より多くの市民へアグリパークの自然環境、地域の貴重な地域資源であることを周知させることができ、ある程度の成果を実感した。

【今後の事業発展への貢献】

都市化が進むなか、和光市が誇る大切な自然環境と「農」という地域資源を保全し活性化することにより、地権者には安心して事業経営ができる環境を提供し、市民農園利用者にも「農」あるくらしを楽しめる環境づくりの提供、若者子どもたちへは「農あるくらし」に親しむ機会の提供、アグリパークの四季折々の自然環境保全と「農」あるくらしを市民に周知させることができたのは、他団体の支援、産業支援課と当団体が対等に納得できるまで協議をし、双方が信頼を共有し協働事業を行えたことで貢献ができたことと確信する。

担当課の報告

協働事業を実施した率直なご感想をご記入ください（良かった点、苦勞した点、印象に残っていること、事務量的変化・協働に対する意識の変化等があったか等）。

- ・イベント、講座等の実施実績の向上が見られた。
- ・管理員一人一人の必要な知識や技術の習得が図られ、円滑に業務が行われている。
- ・廃棄物については農園内の軽微なものの回収としており、現在も対応されている。道路上の廃棄物や大型の廃棄物の回収については、団体、産業支援課及び道路安全課で協議して対応していきたい。

- 団体内での連絡調整、意思疎通が不十分なこともある。
- 施設利用者や市民農園利用者等が安心して利用できるよう、市と団体とで共通認識を持って、安全面に配慮した管理を行いたい。